

令和５年度 第５回「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：令和６年３月２７日（水）午後６時３０分～

午後７時３０分

会場：墨田区役所１３階 １３１会議室

次第

１ 開会

２ 議題

(1) 答申（案）について

３ その他

(1) 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査の結果について

(2) 「こどもまんなかすみだ」キックオフイベントについて

(3) 墨田区放課後子ども総合プラン推進委員会の開催結果について

４ 事務連絡

(1) 新年度開催予定

５ 閉会

配布資料

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 資料１ | 墨田区子ども・子育て会議委員名簿 |
| 資料２ | 答申書（素案） |
| 資料３ | 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査 調査結果報告書 |
| 資料４ | 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査 調査結果報告書【概要版】 |
| 資料５ | 「こどもまんなかすみだ」キックオフイベントについて |
| 資料６ | 墨田区放課後子ども総合プラン推進委員会の開催結果について |

出席者（敬称略）

○委員

西村 孝幸（小梅保育園長）
西島 由美（にしじま小児科院長）
野原 健治（社会福祉法人興望館理事長）
浅見 佳子（相模女子大学准教授）
古屋 真（駒沢女子短期大学准教授）
八重田 裕一郎（墨田児童会館館長）
東 百代（本所白百合幼稚園長）
星野 操（文花子育てひろば施設長）
土屋 恵子（主任児童委員）
末田 豪（立花吾孀の森小学校PTA会長）
平林 秀敏（墨田中学校PTA会長）
尾口 優子（青少年委員協議会委員）
徳原 広美（株式会社コーリン堀川取締役保育事業担当）
賀川 祐二（NPO法人病児保育を作る会代表理事）
高田 宏美（キャリア保育園東向島施設長）
真鍋 文朗（区民公募委員）
眞能 貴代（区民公募委員）
三井田 香奈（区民公募委員）
本谷 友実（区民公募委員）
河原 宏子（緑幼稚園長）
藤村 雅彦（柳島小学校長）
国分 幸美（太平保育園長）

<欠席委員>

山口 仁美（両中地区青少年育成委員会委員長）
横山 竜也（区民公募委員）
佐藤 順一（吾孀立花中学校長）

<傍聴者>

なし

○事務局出席者

酒井 敏春（子ども・子育て支援部長）、宮本 知幸（教育委員会事務局次長）、石岡 克己（子育て支援課長）、秋山 和栄（子育て政策課長）、細谷 勇治（子ども施設課長）、坂田 勝彦（子育て支援総合センター館長）、梅原 和恵（副参事（子ども・家庭支援連携担当））、石坂 泰（指導室長）、大八木 努（地域教育支援課長）

議事概要

1 開会

2 議題

(1) 答申（案）について

事務局	(資料に基づいて説明)
西村会長	・ こちらの内容で明後日の夕方に、八重田学齢部会長と共に区長へ答申を行う。
古屋委員	(資料に基づいて説明)
尾口委員	・ 前回の会議で西島先生から、多子世帯というよりは、子どもの数に関わらず、孤立世帯をサポートすべきというお話があった。 ・ 私自身4人子どもがいるが、墨田区で子育てしていて大変だと思ったことはない。近所の人に支えられてきたからである。そういったことを考えると、子どもの数ではなく、サポートの有無が重要だと思う。 ・ ニーズ調査の「欲しい子どもの数」と「実際に持てると思う子どもの数」についての結果を見ると、少子化の現状を表していると思う。 ・ 今後、多子世帯は減っていくと思うので、多子世帯へ目を向けるより、孤立している世帯に対して、墨田区の温かさを活かした施策を考えていけると良い。
西村会長	・ 墨田区らしい計画にしていく必要がある。 ・ 地域特性を活かした計画になっていくよう、来年度にみなさまとお話させていただきたい。
事務局	・ 答申案については、この1年間でみなさまからいただいた意見を取りまとめたものである。答申に書かれていること以外にも、ニーズ調査の結果もしっかりと計画に反映していく。 ・ 多子世帯だけでなく、親の孤立防止などについても、当然次期計画に入っていくと思う。
西村会長	・ 古屋先生のお話は、今年の議論が来年につながる、架け橋になるようなお話だった。

3 その他

(1) 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査の結果について

事務局	(資料に基づいて説明)
西島副会長	・ 学童クラブの利用希望について、高学年は利用希望が低いというお話ですが、そもそも高学年が入れる学童クラブはない。行きたくても行けないというのが現状だと思う。

事務局	・ そのとおりである。
三井田委員	・ 今回のニーズ調査結果について、具体的な周知方法を教えて下さい。
事務局	・ 区のホームページでの周知がメインとなる。 ・ 報告書の冊子は、区の各施設に設置して閲覧できるようにする。
真鍋委員	・ 高校生等の回収率は約 30%と、未就学や小学生、中学生よりも低いですが、前回と比べるとどういう状況か。高校生の自由回答の結果がとても興味深いので、次回はもっと回収率が上がると良い。
事務局	・ 前回調査は、高校生が約 32%で有効回答件数は 96 件だった。今回は、回収率は前回よりも少し低いですが、有効回答件数は 239 件である。

(2) 「こどもまんなかすみだ」キックオフイベントについて

事務局	(資料について基づいて説明)
各委員	(イベント名について 3 案のうち挙手にて投票)
西村会長	・ 挙手いただいた結果、1 番が最も多かった「みんなであそぼう！こどもわくわくフェスティバル」に決定する。

(3) 墨田区放課後子ども総合プラン推進委員会の開催結果について

事務局	(資料について基づいて説明)
西島副会長	・ 先ほどのニーズ調査結果からもわかるように、児童館に求める場所について「スポーツ」という意見が圧倒的に多い。 ・ 子どもたちは遊ぶところがないため、児童館に求める場所というよりも、スポーツできる場所を求めているということなので、そのあたりの利用方法も考えていただきたい。
西村会長	・ 居場所づくりについては、放課後教室の利用促進についての課題もある。まずは昨年度の答申を受け、課題の洗い出しと関係者間での情報共有を行ったところかと思う。 ・ 来年度に向けて、所管課でそれぞれ学童クラブや教育委員会のお立場で事業化を検討していただくことになるかと思う。この会議でも、進捗は随時ご報告いただきたい。

4 事務連絡

5 閉会

以上